

事務事業評価表

事務事業名	地域連携推進				計画コード	1501	
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課				担当名	指導担当	
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]						
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育						
施策	15	地域と連携した教育の推進					
取組内容番号							

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市みどりの学校ファーム推進協議会規約・和光市学校評議員設置要綱等				
対象	和光市立小・中学校児童生徒及び各学校にかかわる家庭・地域						
意図・目的	学校の特色を生かし、地域の信頼を得る(学校評議員)。学校の活性化や家庭・地域の教育力の向上を目指すとともに、学校・家庭・地域社会の一体化を図る(学校応援団)。						
活動概要	保護者や地域住民などの意見を幅広く聴取し、多面的な視野から学校運営を見直す。学校応援団により、学習活動、安心・安全確保、学校の環境整備を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 和光市立各小・中学校) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度(%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	学校応援団への協力者数	人	570.0	1,435.0	2,208.0	2,000.0	800.0	276.0						
			連携活動実施数(1校あたり)	回	4.8	56.2	139.0	140.0	6.0	2316.7						
			みどりの学校ファーム設置率	%	54.6	81.8	100.0	100.0	100.0	100.0						
			追加指標													
		費用	予算額		千円	630	1,293	1,443	1,266	備考						
			決算額		千円	630	1,018	1,146	-							
			財源内訳	(一般財源)		千円	630	578	750	824						
	(特定財源)			千円	0	440	396	442								
			人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0				
				職員分		千円	610	610	610	610						
	非常勤分			千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)		千円	1,240	1,628	1,756	1,876									
定性的評価	活動の成果	家庭や地域の方々の学校教育への関心が高まり、学校行事などへの積極的な参加協力が増え、家庭地域の教育力の向上や開かれた学校・信頼される学校づくりを推進することができた。														

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	組織づくりや環境整備が進み、今後は開かれた学校・信頼される学校づくりのために、更なる活動の充実を目指す。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 今日、保護者・地域・学校の連携なしで、有効な教育活動は進められない。保護者・地域の意見に耳を傾け学校の経営に生かしていく。また保護者・地域の教育力を活用するとともに、学校・保護者・地域の教育力を高めるため市内各校の情報交換を広げる。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	特色ある学校づくり(小学校)				計画コード	1502	
所属名(部・課・担当)	教育委員会			学校教育課		担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]						
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育						
施策	15	地域と連携した教育の推進					
取組内容番号							

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市立小・中学校特色ある学校作り推進事業補助金交付要綱
対象	和光市立各小学校の児童		
意図・目的	児童が、保護者の願いや地域の実態等を踏まえた特色ある教育環境のもとで学習している。		
活動概要	次の事業に対し、補助金を交付し支援する。 ・全小学校において、児童や地域の実態を踏まえた特色ある教育を実施する。 ・教育環境の整備充実、学習活動や指導方法の工夫改善を図る。 ・地域人材の活用や地域連携により、多様な学習形態を創造する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 和光市立各小学校) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考		
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値							
定量的 評価	活動実績	当初設定指標													
			教育環境を整備している学校数	校	8.0	8.0	8.0	8.0	0.0	0.0	8.0	100.0			
			学習活動の充実を図っている学校数	校	8.0	8.0	8.0	8.0	0.0	0.0	8.0	100.0			
		追加指標													
	事業費 費用	予算額		千円	4,000	4,000	800	800	0	0	備考				
		決算額		千円	4,000	4,000	800	800	-	-					
		財源 内訳	(一般財源)	千円	4,000	4,000	800	800	0	0					
			(特定財源)	千円	0	0	0	0	0	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0		
			職員分		千円	610	610	610	610	0	0				
非常勤分			千円	0	0	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	4,610	4,610	1,410	1,410	0	0							
定性的 評価	活動の成果	今後も保護者や市民のニーズを踏まえた特色ある学校づくりを進めていく。平成24年度は学校活性化事業として各学校の実態に応じた取組及び予算の活用を進めていく。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後も保護者や市民のニーズを踏まえた特色ある学校づくりを進めていく。平成24年度は学校活性化事業として各学校の実態に応じた取組及び予算の活用を進めていく。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 各学校の地域性・児童の実態を踏まえた特色ある学校づくりを推進していく。平成24年度より、学校活性化事業として活動選択の幅を広げ推進していく。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	特色ある学校づくり(中学校)	計画コード	1503
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	15	地域と連携した教育の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市立小・中学校特色ある学校作り推進事業補助金交付要綱
対象	和光市立各中学校の生徒		
意図・目的	生徒が、保護者の願いや地域の実態等を踏まえた特色ある教育環境のもとで学習している。		
活動概要	次の事業に対し、補助金を交付し支援する。 ・全中学校において、生徒や地域の実態を踏まえた特色ある教育を実施する。 ・教育環境の整備充実、学習活動や指導方法の工夫改善を図る。 ・地域人材の活用や地域連携により、多様な学習形態を創造する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 和光市立各中学校) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	教育環境を整備している学校数	校	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	100.0				
			学習活動の充実を図っている学校数	校	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	100.0				
		追加指標												
		事業費	予算額	千円	1,500	1,500	300	0	備考					
		決算額	千円	1,500	1,500	300	-							
	費用内訳	(一般財源)	千円	1,500	1,500	300	0							
(特定財源)		千円	0	0	0	0								
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0			
		職員分	千円	610	610	610	0							
		非常勤分	千円	0	0	0	0							
		総事業費(事業費+人件費)	千円	2,110	2,110	910	0							
定性的評価	活動の成果	今後も保護者や市民のニーズを踏まえた特色ある学校づくりを進めていく。平成24年度は学校活性化事業として各学校の実態に応じた取組及び予算の活用を進めていく。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後も保護者や市民のニーズを踏まえた特色ある学校づくりを進めていく。平成24年度は学校活性化事業として各学校の実態に応じた取組及び予算の活用を進めていく。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	各学校の地域性・生徒の実態を踏まえた特色ある学校づくりを推進していく。平成24年度より、学校活性化事業とし活動選択の幅を広げ推進していく。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	校外活動支援(小学校)	計画コード	1505
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	15	地域と連携した教育の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	教育基本法・学校教育法・補助要綱
対象	林間学校に参加する和光市立小学校児童		
意図・目的	林間学校に参加するにあたり、林間学校の保護者負担を軽減する。		
活動概要	児童一人当たり5000円の補助をする。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 和光市立小学校) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	補助件数	件	701.0	667.0	685.0	701.0	701.0	750.0	91.3			
		追加指標												
		費用	事業費		予算額	千円	4,410	4,350	3,750	3,800	備考			
			財源内訳	決算額		千円	4,206	4,002	3,425	-				
				(一般財源)		千円	4,206	4,002	3,425	3,800				
	(特定財源)		千円	0	0	0	0							
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1		
		職員分		千円	0	0	0	0						
		非常勤分		千円	100	100	100	100						
	総事業費(事業費+人件費)		千円	4,306	4,102	3,525	3,900							
定性的評価	活動の成果	林間学校で児童の交流が図られ、児童の社会性・集団の中での責任感が育成され有意義な宿泊校外活動となった。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	林間学校で児童生徒の交流が図られ、児童の社会性・集団の中での責任感が育成される有意義な宿泊校外学習となっているので、今後も継続していく。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	宿泊を伴う集団生活体験活動を通して、児童の社会性・集団の中での責任感を育成する。すべての児童が参加できるよう、家庭の金銭的負担を軽減するため有効である。今後も継続していく。		

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)			

事務事業評価表

事務事業名	校外活動支援(中学校)	計画コード	1506
所属名(部・課・担当)	教育委員会 学校教育課	担当名	指導担当
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	15	地域と連携した教育の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	教育基本法・学校教育法・補助要綱
対象	林間学校に参加する和光市立中学校生徒		
意図・目的	林間学校に参加するにあたり、林間学校の保護者負担を軽減する。		
活動概要	生徒一人当たり5000円の補助をする。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 和光市立中学校) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	補助件数	件	538.0	493.0	558.0	591.0	600.0	93.0				
		追加指標												
	費用	事業費	予算額	千円	3,480	3,180	3,000	3,100	備考					
			決算額	千円	3,228	2,958	2,790	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	3,228	2,958	2,790	3,100						
			(特定財源)	千円	0	0	0	0						
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1		
			職員分	千円	0	0	0	0						
			非常勤分	千円	100	100	100	100						
	総事業費(事業費+人件費)	千円	3,328	3,058	2,890	3,200								
定性的評価	活動の成果	林間学校で生徒の交流及び体験活動の充実が図られ、有意義な宿泊校外活動となった。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	林間学校で生徒の交流及び体験活動の充実が図られ、有意義な宿泊校外活動となっているので、今後も継続していく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 宿泊を伴う集団生活体験活動を通して、生徒の社会性・集団の中での責任感を育成する。すべての生徒が参加できるよう、家庭の金銭的負担を軽減するため有効である。今後も継続していく。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	和光市市立小学校建設	計画コード	2001
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	-
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	20	小中学校の配置・規模の適正化の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	現在及び将来の市内小学校生徒		
意図・目的	宅地開発等による児童増に対応した適正規模の教育施設の建設を行う。		
活動概要	用地取得を進め、早期実現を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	用地確保面積	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	2,000.0	10000.0	0.0		
		追加指標											
	費用	事業費	予算額		千円	0	0	48	1,500	備考			
			決算額		千円	0	0	0	-				
財源内訳		(一般財源)		千円	0	0	0	1,500					
		(特定財源)		千円	0	0	0	0					
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.0	0.0	
	職員分		千円	0	0	0	9,150	6,100					
	非常勤分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費(事業費+人件費)		千円	0	0	0	9,150	7,600					
定性的評価	活動の成果	平成23年度には、小学校建設の用地確保のため交渉を行ってきたが、用地確保までには至っていません。											

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	地権者の方々に対して細かな説明と交渉条件がスムーズに取り入れられ対応できるよう計画的に行っていく。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	計画的に進めていく。		

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)			

事務事業評価表

事務事業名	学校建設基金積立	計画コード	2002
所属名(部・課・担当)	教育委員会 教育総務課	担当名	-
基本目標	自ら学び心豊かに創造性を育むまち[教育・文化・交流]		
基本施策	個性を伸ばし生きる力を育む教育		
施策	20	小中学校の配置・規模の適正化の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	学校建設		
意図・目的	小学校建設充当の資金を確保する。		
活動概要	小学校建設に向け計画的に基金を積み立てる。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	基金の積立て額		0.0	105,200.0	100,083.0	62.0							
		追加指標													
		費用	事業費		予算額	千円	0	105,200	100,083	62	備考				
			財源内訳	決算額		千円	0	105,200	100,083	-					
				(一般財源)		千円	0	105,200	100,083	0					
	(特定財源)		千円	0	0	0	62								
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		職員分		千円	0	0	0	0							
		非常勤分		千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)		千円	0	105,200	100,083	62								
定性的評価	活動の成果	年度ごとに、計画的な基金積立てを行えるよう努めている。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	計画的に行っていく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	計画的に行っていく。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	長寿・敬老支援	計画コード	3601
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	長寿福祉担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	老人福祉法、和光市敬老年金支給条例等
対象	明治44年以前生まれ・新百歳・市内男女最高齢者		
意図・目的	長寿と健康を祝い、長年の社会貢献について敬意を表される。また、市民へ敬老思想が普及しているようにする。		
活動概要	敬老年金(明治44年以前生まれ)を支給し、100歳長寿慶祝・市内男女最高齢者慶祝する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値								
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		敬老年金受給者	人	22.0	14.0	8.0	8.0	15.0	53.3					
		100歳長寿者	人	2.0	5.0	7.0	8.0	15.0	46.7					
	追加指標													
	費用	事業費	予算額	千円	821	1040	774	632	備考					
			決算額	千円	564	724	402	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	564	724	402	632						
			(特定財源)	千円	0	0	0	0						
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.5	0.0	0.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0		
			職員分	千円	3050	3050	1220	1,220						
非常勤分	千円		0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)	千円	3,614	3,774	1,622	1,852								
定性的評価	活動の成果	敬老年金(明治44年以前生まれ)対象者が平成23年度には8人あり、適切に支給した。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	国の事業と併せて100歳長寿慶祝については一括で行なう等事務改善を行なっている。敬老年金についても対象者を市で把握し、事業を実施するなど簡素化をしている。その影響で逆に市民への周知の機会が減少しているといった課題も出てきている。今後は、介護予防事業の健康寿命の延伸に連携した事業形態が必要と考えている。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	これまでも実施内容・手法等について適切に見直しを行ってきたが、市の財政状況及び高齢者数の推移等、社会情勢に合わせて、事業実施の必要性を含め、見直しが必要であるとする。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	新倉高齢者福祉センター管理運営	計画コード	3602
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	介護福祉担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内に住所を有する60歳以上の人		
意図・目的	高齢者が健康で社会参加ができ、地域において活動的であり、自立しているようにする。		
活動概要	老人福祉センター的機能となる、地域の交流拠点と介護予防小規模多機能型居宅介護拠点機能を備えた施設として、指定管理者制度により、民間事業者が運営を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 株式会社 日本生科学研究所) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考		
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	センター利用者数	人	27,239.0	26,424.0	24,964.0	25,000.0	25,000.0	28,000.0	89.2				
		追加指標													
	費用	事業費	予算額		千円	41,962	41,962	42,042	40,128	備考					
			決算額		千円	34,436	43,346	41,993	-						
		財源内訳	(一般財源)		千円	34,436	43,346	41,993	40,128						
			(特定財源)		千円	0	0	0	0						
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
			職員分		千円	610	610	610	610						
	非常勤分		千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)		千円	35,046	43,956	42,603	40,738								
定性的評価	活動の成果	公募選定された提案のとおり、介護予防に関する講座等を幅広く実施し、地域高齢者のQOL向上に寄与した。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	C	C
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	講座を行なう会議室等のスペースが不足している為、隣接する勤労青少年ホームの会議室等の連携利用が急がれる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	指定管理者による運営により、高齢者福祉センターの施設効用は期待通りに高まっているものと考え、今後も保険者のパートナーとして、第5期長寿あんしんプランに沿った施設運営・事業展開を求めていく。(「市民との協働」に関しては、施設及び事業運営の性質上、限定的なものとなるが、プランに掲げた考え方に沿って手法等を検討していくものとする。)

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	高齢者福祉センター管理運営	計画コード	3603
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	介護福祉担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市内に住所を有する60歳以上の人		
意図・目的	高齢者の健康増進及び社会参加等、地域において自立し活動的な生活を送ることができるようにする。		
活動概要	介護予防を基本とした各種講座(教養専門講座、パソコン講座、介護予防運動、レクリエーション等)の開催、サークル活動の場の提供とコーディネートを実施する。また、介護保険法に基づく介護予防通所介護の運営により、地域高齢者の介護予防の促進、自立支援を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 和光市社会福祉協議会) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	センター利用者数	人	41,025.0	40,670.0	41,945.0	42,000.0	42,000.0	42,000.0	99.9		
		追加指標											
	費用	事業費	予算額		千円	48,000	43,478	44,215	44,215	備考			
			決算額		千円	46,177	43,478	44,215	-				
財源内訳		(一般財源)		千円	46,177	43,478	44,215	44,215					
		(特定財源)		千円	0	0	0	0					
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0			
	職員分		千円	610	610	610	610						
	非常勤分		千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)		千円	46,787	44,088	44,825	44,825						
定性的評価	活動の成果												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	C	C
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	指定管理者による管理運営により、高齢者福祉センターの機能が十分に発揮され、利用者の満足につながっている。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 指定管理者による運営により、高齢者福祉センターの施設効用は期待通りに高まっているものとする。今後も保険者のパートナーとして、第5期長寿あんしんプランに沿った施設運営・事業展開を求めていく。(「市民との協働」に関しては、施設及び事業運営の性質上、限定的なものとなるが、プランに掲げた考え方に沿って手法等を検討していくものとする。)
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定	計画コード	3604
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	介護福祉担当
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	老人福祉法第20条の8、介護保険法第117条
対象	介護保険被保険者		
意図・目的	地域包括ケアシステムの構築による介護保障と自立支援の確立		
活動概要	高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画の策定		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値								
定量的評価	活動実績	当初設定指標	策定会議開催数	回			4.0								
		追加指標													
	費用	事業費	予算額	千円	0	0	2,300	0	備考						
			決算額	千円	0	0	140	-							
		財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	140	0							
			(特定財源)	千円	0	0	0	0							
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0			
			職員分	千円	0	0	1,830	0							
	非常勤分		千円	0	0	0	0								
	総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	1,970	0									
定性的評価	活動の成果	高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画となる「和光市 長寿あんしんプラン」について、地域包括ケアに資する策定内容とすることができた。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	第5期計画では、策定当初の課題であった「地域包括ケアシステム」の構築の先駆けとなる具体的な取組を盛り込むことができた。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	今後は、第5期長寿あんしんプランに掲げた取組を確実に実施・達成するため、計画の理念・目標・基本方針を職員が共有し、実施を徹底していくものとする。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	救急医療情報キットの配付	計画コード	3606
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	長寿福祉
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市救急医療情報キット配付要綱
対象	高齢者、及び障害者		
意図・目的	独居の障害者、高齢者に緊急時の救命医療情報キットを配付することにより、在宅生活での安心感を与え、緊急時に活用して貰う。		
活動概要	独居の障害者、高齢者世帯の希望者に配付を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	救急医療情報キット配付数	本			976.0	1,000.0	5,000.0	19.5				
		追加指標												
		費用	事業費	予算額	千円	0	0	390	32	備考				
				決算額	千円	0	0	390	-					
財源内訳	(一般財源)			千円	0	0	390	32						
	(特定財源)	千円	0	0	0	0								
定性的評価	活動の成果	費用	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	
				職員分	千円	0	0	1830	1,830					
				非常勤分	千円	0	0	0	0					
				総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	2,220	1,862					
自治会等への依頼を通して、配付協力をお願いするなど、より多くの方に周知が知れ渡るようにした。														

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	B	B
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	市の関与として、自治会、地区単位で取り組んでいる市町村もあるが、市全体で取り組んでいる和光市の場合、市が行うのが効率的であり、望ましい。また、市民の関心も高い事業でもあるため、今後も継続的に実施していけるよう体制を整備していきたい。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	事業を引き続き実施し、市民等に対する事業趣旨の普及を目指すと同時に、キット作成のための環境整備(資材調達・作業場所の確保等)が必要である。また、災害時要援護者台帳事業及び地域支え合いマップとの連携調整が必要である。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	生きがい活動	計画コード	3607
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	長寿福祉
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	老人福祉法、高齢者等の雇用の安定等に関する法律等
対象	老人クラブ・シルバー人材センター及び高齢者		
意図・目的	高齢者が生きがいを得られ、それによって地域が活性化されるようにする。		
活動概要	老人クラブへの補助金、実施事業への支援と朝霞地区シルバー人材センターへの支援を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 老人クラブ連合会、単位老人クラブへの補助金 朝霞地区シルバー人材センターへの負担金) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	シルバー人材センター会員数	人	355.0	375.0	370.0	390.0	430.0	86.0					
			老人クラブ会員数	人	975.0	1,143.0	1,170.0	1,200.0	1,200.0	97.5					
			追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	7,330	7,640	12,520	7,440	備考					
			決算額		千円	7,120	7,260	12,290	-						
財源内訳			(一般財源)		千円	7,120	6,795	12,290	7,026						
			(特定財源)		千円	0	465	0	414						
人件費		職員数(正規/非常勤)		人	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0					
		職員分		千円	1,220	1,220	1,220	1,220							
	非常勤分		千円	0	0	0	0								
総事業費(事業費+人件費)		千円	8,340	8,480	13,510	8,660									
定性的評価	活動の成果	老人クラブの会員勧誘活動の事例を紹介するなど会員数の増強に努めた。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	老人福祉法、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に定められた市の配慮、援助に努めなければならない事業であり、補助金、負担金支出が経費を伴う主たる事業のため、現状が望ましいと考える。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	老人クラブに対しては、補助金の交付や実施事業への支援を行っており、活動事業の指標である老人クラブ会員数は目標値に近づいているが、クラブの適正運営に関する働きかけも必要であると考えられる。		

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)			

事務事業評価表

事務事業名	在宅高齢者住宅支援	計画コード	3608
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	長寿福祉・介護福祉
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市高齢者住宅条例、高齢者支援住宅家賃助成要綱等
対象	住宅に困窮する高齢者等		
意図・目的	高齢者の住みやすい住環境が実現されている。		
活動概要	高齢者住宅借上、高齢者支援住宅家賃助成、高齢者住替住宅家賃助成を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考		
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	高齢者住宅借上数	室	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	100.0				
			高齢者支援住宅家賃補助世帯	延べ世帯	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	100.0			
			住替家賃助成世帯	世帯	2.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	66.7				
		追加指標													
	事業費	予算額		千円	14,683	14,429	14,425	13,276	備考						
		決算額		千円	12,754	12,361	11,715	-							
		財源内訳	(一般財源)	千円	7,745	7,335	6,869	8,969							
			(特定財源)	千円	5,009	5,026	4,846	4,307							
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0		
			職員分		千円	1,220	1,220	1,220	1,220						
非常勤分			千円	0	0	0	0								
総事業費(事業費+人件費)		千円	13,974	13,581	12,935	14,496									
定性的評価	活動の成果	高齢者に対して、住居を安定的に供給することにより、高齢者福祉の向上を目指す。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後も高齢化率上昇等の社会情勢の変化に対応しながら、事業の継続改善を図っていく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 高齢者に対する施策は、住環境の整備を含めて、一体的・複合的に実施する必要がある。そのため、事業を継続しながら、市域の住宅事情や社会情勢等に応じて必要な見直しや改善を図る必要があるものとする。
--------	--

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	老人ホーム入所措置	計画コード	3609
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	長寿福祉
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	法定受託事務	根拠法令等	老人福祉法
対象	措置を必要とする高齢者		
意図・目的	必要最低限の生活が保障されている。		
活動概要	措置者の入所の適否、措置費用の徴収、措置委託料支出、措置者の状況把握を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: 養護老人ホーム(一部特別養護老人ホームも含む)) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	措置人員	人	4.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0		
		追加指標												
定量的評価	費用	予算額		千円	10,224	7,224	7,290	7,623	備考					
		決算額		千円	7,736	4,753	4,920	-						
		財源内訳	(一般財源)		千円	6,765	3,976	4,052	6,879					
			(特定財源)		千円	971	777	868	744					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0			
			職員分		千円	1,220	1,220	1,220	1,220					
			非常勤分		千円	0	0	0	0					
総事業費(事業費+人件費)		千円	8,956	5,973	6,140	8,843								
定性的評価	活動の成果	措置人数は、変化がないが、相談件数は増加している。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	老人福祉法に定められている法定事務のため、継続実施すべき。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 事業を継続して実施する中で、行政処分の適正化と、措置に関する費用の適正な執行については、継続的に取組むものとする。
--------	--

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	

事務事業評価表

事務事業名	後期高齢者医療	計画コード	3610
所属名(部・課・担当)	保健福祉部 長寿あんしん課	担当名	後期高齢者医療
基本目標	健やかに暮らしみんなで支え合うまち【保健・福祉・医療】		
基本施策	高齢者の生きがいづくり		
施策	36	高齢者の生きがいと社会参加への支援	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律
対象	75歳以上の方、および65歳から74歳までの方で一定の障害があると広域連合の認定を受けた方		
意図・目的	高齢者が健康で元気になっているようにする。		
活動概要	健康診査を通じて生活習慣病を早期に発見することで、高齢者の健康の保持・増進を図る。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	健康診査受診率	%	41.0	41.0	41.4	45.0	50.0	82.8				
		追加指標												
	事業費	予算額		千円	19,292	309,588	349,199	383,494	備考					
		決算額		千円	277,413	304,454	316,598	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	267,548	292,314	301,777	366,565						
			(特定財源)	千円	9,865	12,140	14,821	16,929						
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	
			職員分		千円	18,300	18,300	18,300	18,300					
	非常勤分		千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)		千円	295,713	322,754	334,898	401,794								
定性的評価	活動の成果	健康診査は生活習慣病を早期に発見することで、高齢者の健康の保持・増進を図り、健康で元気な生活を営んでいただくことを目標としている。平成20年度より受診者数・受診率とも伸びている状況であり、市民の健康管理意識の向上が伺える。今後はより一層の健康管理意識の向上を図り、健康で元気な生活を営んでいただけるようにしたい。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	受診率の推移から見ても事業は順調に進んでおり、今後もこのまま継続して行って行きたい。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 疾病予防を推進するためには不可欠な事業であるが、保険給付適正化を念頭に置いた事業効果の検証方法や診査結果の効果的な活用方法等については今後検討する必要があると考えている。
--------	--

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	